

有害プランクトン情報

(令和6年度 - No. 9)

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所・生産技術研究室

千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によって、魚類の死亡や二枚貝の毒化を引き起こすことがあるため、毎月、有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合
- | | | | | |
|---------|----------|-------|----------|-------|
| 12月 第1回 | 内湾 (8地点) | 12/2 | 内房 (7地点) | 12/4 |
| 12月 第2回 | 内湾 (8地点) | 12/16 | 内房 (7地点) | 12/17 |
- 貝類漁場内
- | | |
|------|--------------------|
| 鴨川地区 | 12/3 (生産技術研究室が担当) |
| 富津地区 | 12/9 木更津北部地区 12/16 |

東京湾(内湾)

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属は確認されませんでした。
- ※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は 100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1,000 細胞/mL 以上で注意報を発出します。
- カレニア ミキモトイが確認されましたが、低密度でした。
- ・12/2 (沖合漁場) アクア南, 富津を除く内湾全域 最高密度は船橋の 0.90 細胞/mL
 - ・12/16 (沖合漁場) 船橋, 盤洲北 最高密度は船橋の 0.25 細胞/mL
- ※ カレニア属は 100 細胞/mL 以上で注意報を発出します。
- 赤潮 (透明度 1.5m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上, クロロフィル a 50 μ g/L 以上) はみられませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
- 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
- 沖合漁場および貝類漁場内でディノフィシス アキュミナータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
- ・12/2 (沖合漁場) 内湾全域 最高密度はアクア北の 1.60 細胞/mL
 - ・12/9 (貝類漁場) 富津地区 密度 0.25 細胞/mL
 - ・12/16 (沖合漁場) 内湾全域 最高密度は千葉灯標の 1.75 細胞/mL
 - ・12/16 (貝類漁場) 木更津北部地区 密度 0.30 細胞/mL
- 沖合漁場でディノフィシス ロツンダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
- ・12/2 (沖合漁場) 千葉灯標, 羽田沖, アクア北 最高密度は羽田沖の 0.15 細胞/mL
 - ・12/16 (沖合漁場) 千葉灯標, 羽田沖, アクア北, 盤洲北
最高密度は千葉灯標, 羽田沖, アクア北, の 0.10 細胞/mL
- 沖合漁場でディノフィシス コウダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
- ・12/2 (沖合漁場) 船橋, 千葉灯標, アクア南, 盤洲北 最高密度は船橋, 千葉灯標の 0.10 細胞/mL
 - ・12/16 (沖合漁場) 船橋, 千葉灯標, 盤洲北, 盤洲南 最高密度は船橋, 盤洲北の 0.15 細胞/mL
- 3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。
- (貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

東京湾(内房)

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
 - ※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は 100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1,000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL 以上で注意報を発出します。
- 赤潮はみられませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - 沖合漁場でディノフィシス アキュミナータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 12/17 (沖合漁場) 富津南, 大貫 最高密度は富津南の 0.40 細胞/mL
 - 沖合漁場でディノフィシス ロツンダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 12/4 (沖合漁場) 富津南 密度は 0.05 細胞/mL
 - 沖合漁場でディノフィシス コウダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 12/4 (沖合漁場) 富津南 密度は 0.10 細胞/mL
 - ・ 12/17 (沖合漁場) 富津南 密度は 0.05 細胞/mL
- 3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

鴨川海域

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

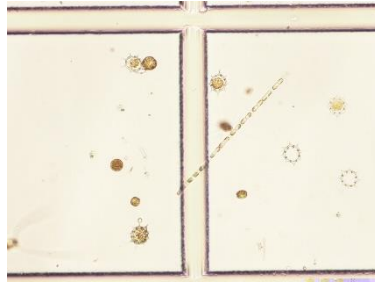
- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
- 3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたフランクtonの優占種

12/2	内湾	珪藻 アクティノプティカス セナリウス 珪質鞭毛藻 ディクチオカ属
12/4	内房海域	珪藻 アクティノプティカス セナリウス 珪質鞭毛藻 ディクチオカ属
12/16	内湾	珪藻 スケルトネマ属, アクティノプティカス セナリウス
12/17	内房海域	珪藻 キートセロス属



アクティノプティカス セナリウス
(12/2 アクア南)



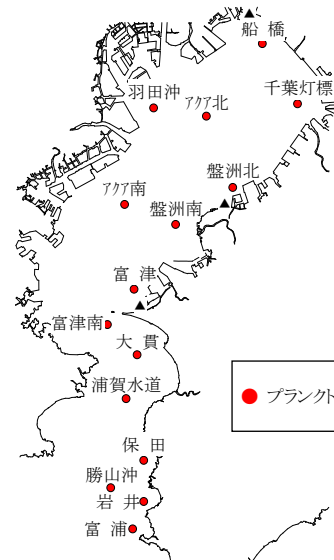
ディクチオカ属など
(12/2 千葉灯標)



アクティノプティカス セナリウスなど
(12/4 富津南)



スケルトネマ属など
(12/16 アクア北)



調査点 (沖合漁場)

連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp